

NACHI 自社開発モーターの

NSパック[®] NEW type-S

同期モーター搭載省エネ油圧ユニット



消費電力を
約**74% DOWN**^{*}

※当社標準ユニット比

同期モーター
に搭載

インバータ
搭載

工作機械
に最適
ワーククランプや
チャックなど

安全機能標準装備(STO機能) IoT対応(RS-485通信)

株式会社 不二越 www.nachi-fujikoshi.co.jp

KYB

Our Precision, Your Advantage



油圧技術を核に振動制御とパワー制御で社会に貢献する カヤバ





コーポレートアカウント
Instagram・X



公式SNS Instagram・X



YouTube

ゆめある
あしたを、
つくる。

KYB GROUP VISION 2035

カヤバ株式会社

日本フルードパワー工業会 創立70周年

継続的イノベーション期待



日本フルードパワー工業会が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

同工業会は1956年の創立以来、86年の油圧・空圧両団体の統合を経て、調査研究標準化、各種展示会の開催を通じて、長年にわたりが国フルードパワー業界の発展をけん引してこられました。

フルードパワー機器は建設機械や輸送機

経済産業省
製造産業局産業機械課課長
須賀 千鶴氏

近年、国際情勢の不安定化や少子高齢化に伴う人手不足など、製造業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中においても、同工業会は日本発の水圧技術の国際標準化や国際見本市の開

械、生産設備のパワーユニットなど、幅広い分野で用いられる基幹部品であり、その高い品質と性能は日本の製造業の競争力を強く支えてきました。今後も、わが国がG X(グリーン)トランスもひとえに、同工業会フォーメーションを推進していく中で、フルードパワー業界には、術の進歩に尽力されてきた多くの先人の方々の不断の努力のたまものであり、産業機械政策を担う立場として深く敬意を表し、期待されます。経済産業省としても同工業会と緊密に連携しながら、わが国フルードパワー業界の一層の発展に取組んでいきたいと思っております。

70年の歩みを礎に、同工業会が新たな時代を切り開かれることを祈念いたします。

メッセージ

わが国のフルードパワー産業の高度化・発展を後押ししてきた日本フルードパワー工業会(会長 川瀬正裕)が2月18日に創立70周年を迎えた。これを記念して22日、東京プリンスホテル(東京都港区)で創立70周年記念式典および祝賀懇親会を開催する。

フルードパワーは流体のエネルギーを利用して機械や装置を動かす駆動方式で、製造業を支える基盤産業。日本フルードパワー工業会(99年)に日本自動車工業会(99年)が合併し、日本油圧空圧工業会が誕生。その後は水圧関連事業領域も取り込み、日本フルードパワー工業会として新たなスタートを切った。現在は正会員56社、賛助会員が同工業会の母体となる組織65社で構成されている。

若手技術者の教育制度充実



日本フルードパワー工業会 会長
川瀬 正裕

きな転換期を迎え、きました。た。コロナ禍によるサプライチェーン(供給)網の混乱、地政学リスクの高まり、資源価格の暴動、さらには大臣から表彰を賜り、ボーンニートラル(温室効果ガス排出量削減)の要求など、産業界を取り巻く環境はかつてないスピードで変化しました。その中で、製造業はデジタル化・自動化需き、今後の産業の方向性の拡大、半導体製造装置市場の成長などが顕著となり、これらの動きに対応すべく、当工業会においても、若手技術者を対象とした教育制度の充実やIoT(モノのインターネット)・AI(人工知能)の活用に関する情報収集や検討を進めて

記念式典では、長年にわたる業界の発展に寄与された功労者の皆様に、経済産業省から表彰を賜り、ボーンニートラル(温室効果ガス排出量削減)の要求など、産業界を取り巻く環境はかつてないスピードで変化しました。その中で、製造業はデジタル化・自動化需き、今後の産業の方向性の拡大、半導体製造装置市場の成長などが顕著となり、これらの動きに対応すべく、当工業会においても、若手技術者を対象とした教育制度の充実やIoT(モノのインターネット)・AI(人工知能)の活用に関する情報収集や検討を進めて

ごあいさつ

Japan Technical Center 2026年3月に誕生しました

最先端の技術と開発力で新たなイノベーションを創出

優れた研究開発環境を整えたJapan Technical Centerが誕生しました。世界中からお客様やエンジニアリングスタッフが集い、研究開発力の向上とともに、技術交流を通じた新たなイノベーションの創出を目指します。



Bldg.A Bldg.B Bldg.C

SMC 4BAR factory

「4BAR factory」とは工場で使用される圧縮空気の供給圧力を低圧化することでお客様の工場のCO2排出量と電力消費量を大幅に削減するSMCの新たな提案です。お客様と協働し必要な箇所へ必要なだけの圧力に最適化(低圧化)を行い、サステナブルな社会への実現を目指す考え方です。



お客様と装置/設備メーカー様にSMCと一緒にグローバルなサポート体制で課題解決に取り組みます。

詳細はこちら

日本フルードパワー工業会 (JFPA) 70周年 おめでとうございます。

お客様とともに86年、工業会と共に69年、これからも共に

KONAN

甲南電機とお客様・工業会との歩み ※印はJFPAのみの歩みを表記

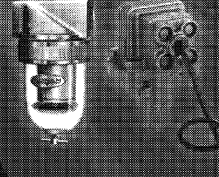
お客様と共に歩んだ

86年

- 1999年 「日本フルードパワー工業会 (JFPA)」に改称
- 1986年 「日本油圧工業会」と合併、「日本油圧空気工業会」を設立
- 1969年 「日本油圧工業会」に発展 (会長として参画)
- ※1962年 「日本油圧工業会」に改称
- ※1958年 「日本油圧機組工業会」に改称
- 1957年 「日本油圧機組工業会」設立 (副会長として参画) → [このときより69年間]
- ※1956年 「油圧機組工業会」設立 → [JFPA 70周年]
- 1950年 「冷凍機組工業会」設立 (幹事として参画)
- 1949年 「甲南電機株式会社」に組織変更
- 1940年 「東亜工作所 (後の甲南電機株式会社)」創立 → [このときより86年間]

工業会と共に歩んだ

69年



甲南電機株式会社

空気圧機器 / 油圧機器 / 各種流体用制御弁 / 自動化・省力化システムと関連機器
本社: 〒663-8133 西宮市上田東町4-97 TEL: 0798-40-6625 URL: https://www.konan-em.com/

日本フルードパワー工業会 創立70周年記念 座談会

この10年の歩みと 未来への展望

日本フルードパワー工業会が創立70周年を迎えるのに先立ち、2月6日に記念座談会を開催した。10年間に会長を務めた5人と西日本支部長2人が参加し、「この10年の歩みと未来への展望」について語り合った。歴代会長が在任時に直面した課題や印象深い取り組みについて話した後、歴代西日本支部長を交えて今後のフルードパワー産業や同工業会の展望について自由討議した。

社会の潮流 大きく変化

司会 本日は日本工業会の創立70周年記念座談会にお集まりいただきありがとうございます。歴代の会長に10年の歩みを振り返ってもらおうとともに、西日本支部長を交えて未来への展望を語りたいと思います。この10年、中国事業での環境変化として挙げられるのは、第一次トランプ政権の誕生により米中対立が鮮明になったこと。新型コロナウイルス感染症の発生と中国のゼロコロナ政策による経済活動の急ブレーキ。それに伴う中国経済の成長鈍化です。このほか全般的には、国際情勢の緊張、デジタル化・IT化の急速な進展、脱炭素化によるコスト負担の増大、日本の人口減少による人手不足の深刻化などさまざまな変化が進みました。



永久氏

DX・IT化急速に進展 永久氏
IoT・予防保全が実装 石川氏

で、フルードパワーを電動に変える動きも見られました。油圧と電動のよいところを融合させたハイブリッド化が進んだのもこの時期です。私は20年5月、月に会長に就任し、コロナ禍に翻弄された時期でした。20年4-6月期のGDP (国内総生産) の実質成長率が、戦後最大の落ち込みとなる中、会長の選任も書面決議という異例のスタートでした。対面での活動が制限され、委員会や部会がウェブ会議に移行しました。印象的なのは、東芝五輪の影響で1年延期になり、多くの制約がある中で開催した「IFPEX 2021 (第26回フルードパワー国際見本市)」、当工業会として初めて、国際標準化機構 (ISO) 規格の取得です。21年11月に日本が提案した水圧ポンプの試験方法に関する規格が「ISO 23840」として認められました。

また、IoT推進部会を発足しました。GX (グリーン・トランスフォーメーション) やデジタル変革 (DX) の進展による産業構造の変化への対応、新たな価値の創出を持続的に考えます。

- 座談会参加者
- カヤバ 代表取締役社長兼CEO
 - CKD 取締役会長
 - 東京計器 代表取締役社長執行役員
 - 油空圧機器技術振興財団 理事長
 - 油研工業 前代表取締役社長
 - ダイキン工業 常務執行役員
 - 川崎重工業 顧問
 - (司会) 日本フルードパワー工業会 専務理事
- 川瀬 正裕 氏
 - 梶本 一典 氏
 - 安藤 毅 氏
 - 石川 孝 氏
 - 永久 秀治 氏
 - 丸岡 秀樹 氏
 - 嶋村 英彦 氏
 - 藤原 達也 氏



石川氏

「国際情勢に対応したサプライチェーン (供給網) の再構築」「デジタル技術活用による製品の付加価値向上と需要の開拓」「有望戦略分野でのビジネス領域の拡大」が戦略として求められます。日本成長戦略会議が掲げる17分野、特に航空宇宙、造船、防衛、ヘルスケア分野で油圧の需要を伸ばしていく戦略が必要で、M



梶本氏

参加者は「空圧と油圧は似て非なるもので全然違うことが分かった」「自分が手がける空圧



安藤氏

工業会初のISO取得 若手技術者集め交流会

今後はAI (人工知能) やCNが主要テーマになってきます。油圧領域でもデジタル化やスマート化へのニーズが高まり、製造現場では設備の状態監視や予知保全、データ連携などDXの取り組みが上がっていると感じますが、社会実装という点では欧州や中国、北米の方が進んでいます。日本も負けるわけにはいきません。

計測・認識・制御で 社会を支える

TOKYO KEIKI

東京計器株式会社 東京都大田区羽田空港1-1-4 HANEDA INNOVATION CITY ゾーンB

DAIKIN MOVE MODERN

工場現場の工数削減に!!

油圧作動油用 油状態センサ

NEW

作動油の劣化度を色相値で判断 作業員によるバラつきをなくし点検工数も削減

オイルミストによる冷却フィンの目詰まり防止 オイルコンメンテ工数を削減

スタンダード型で簡単導入

LEDの色によるステータス表示で正常/異常が一目瞭然

通信機能の利用で一元的管理も可能

フィルタ交換は1年に1回*

消費電力を25~30%削減**

冷却フィンの洗浄は不要*

ダイキン工業株式会社 油機事業部 ☎(06)6378-8765 ホームページ: https://www.hydr.daikin.co.jp

YUKEN Living with Hydraulics

『Living with Hydraulics』 ~油圧と共に生きる~

油研工業株式会社 252-1113 神奈川県横浜市上土棚4-4-34 TEL: 0467-77-2111 / FAX: 0467-77-3330

機械が作動する。 乗り物が躍動する。

ひとが感動する。 すべての動くモノの間に。

油圧・空気圧用シールの専門メーカー

株式会社 阪上製作所 SINCE 1897 〒130-0013 東京都墨田区錦糸4-17-6 TEL: 03-3625-1111 / FAX: 03-3625-8270

